

樟木館日和

しゅもくかんびより ◆ 第十六号



発行日:2017年9月29日

発行:文化のみち樟木館

指定管理者:特定非営利活動法人樟木俱楽部



樟木館の和館に使われる歪みのある
「吹き板硝子」は大きく、硝子窓を通して観る

庭園や建物、硝子に映る景色は、観る角度や
光の強弱により、様々な景色を見させてくれる。

樟木館和館廊下より
洋館を望む。

樟木館の硝子

NPO法人樟木俱楽部理事 伊藤喜雄

樟木館の和館に使われる歪みのある「吹き板硝子」は大きく、硝子窓を通して観る庭園や建物、硝子に映る景色は、観る角度や光の強弱により、様々な景色を見せてくる。皆様も見慣れた景色とは異なる自分の景色を見る。

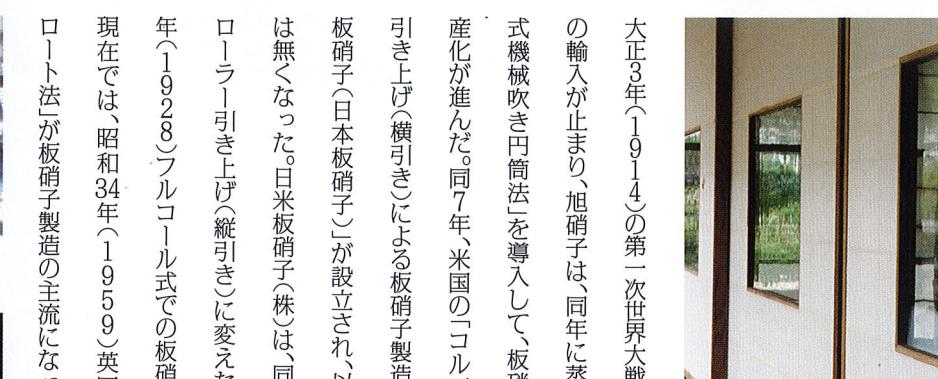


※1【吹き板硝子】樟木館和館廊下より庭を望む。

主税町の屋敷(主税町長屋門の東側)に居住していた。

(100石)の代までは、明治6年(1873)品川興業

社硝子製造所が造られ、工部省は、同9年に硝子製造所を買い取り「品川硝子製造所」を設立した。品川硝子製造所の煉瓦造りの建物は、犬山市の明治村に移築してある。



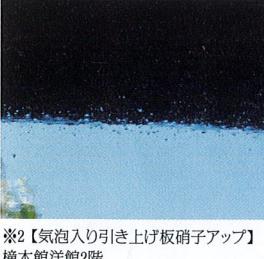
※1【吹き板硝子】樟木館和館障子

探して楽しんではいかがでしょう。この吹き板硝子は、機械吹き板硝子、洋館の気泡の入った硝子は、フルコール式ローラー引き上げ板硝子と思われる。



※2【気泡入り引き上げ板硝子】樟木館洋館2階

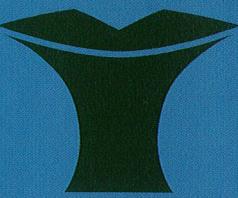
板硝子の製造は失敗の連続で、本格的な板硝子の製造は、明治40年(1907)岩崎俊弥(岩崎弥太郎の甥)が兵庫県尼崎に「旭硝子(株)」を設立して、同42年に手吹きで大きな円筒を作つて、カッターで切り開いて延ばす、ベルギー式「手吹き円筒法」の板硝子製造を始めた。



※2【気泡入り引き上げ板硝子アップ】樟木館洋館2階

大正3年(1914)の第一次世界大戦で海外からの板硝子の輸入が止まり、旭硝子は、同年に蒸気による「ラバース式機械吹き円筒法」を導入して、板硝子の機械による量産化が進んだ。同7年、米国の「コルバーン式のローラー引き上げ(横引き)による板硝子製造を目的として「日本米板硝子(日本板硝子)」が設立され、以降の板硝子の輸入は無くなった。日本板硝子(株)は、同9年、フルコール式ローラー引き上げ(縦引き)に変えた。旭硝子は、昭和3年(1928)フルコール式での板硝子製造を開始した。現在では、昭和34年(1959)英國で開発された「フロート法」が板硝子製造の主流になっている。

2017年10月1日(日)
名古屋市東区にオープン



横山美術館 Yokoyama Art Museum



名古屋はかつて、海外へ輸出される陶磁器生産の一大拠点でした。特に、現在の名古屋市東区には、産地の瀬戸・美濃に近いという好立地から、多くの陶磁器工場が立ち並んでいました。各産地から運び込まれた陶磁器に絵付けを施す、上絵付け業が発展するなかで、名古屋絵付けと呼ばれる豪華で華やかな作風は、海外で人気を博し輸出の花形となりました。本年10月1日に名古屋市東区葵に開館する「横山美術館」は、明治・大正時代に制作された輸出陶磁器を中心とした展示です。



井元商店裏印



名古屋絵付けのカッ普&ソーサー

樟木館を建てた井元為三郎翁は、明治30年に井元商店を創立して陶磁器の輸出を始めます。その10余年後サンフランシスコに販売会社を設立し、アメリカ向けの輸出を本格的に開始しました。横山美術館の里帰り品の中には、「井元商店」の裏印が付いた洋風のカッ普/ソーサーに名古屋絵付けの伝統的な登り龍がデコモリ絵付けで施されたものや、おしゃれなトレイ付きのカッ普等があります。おそらく100年ぶりに生まれ故郷に帰ってきたカッ普達に「お帰りなさい」とつい声が出てします。

横山美術館は、「文化のみち」の新しい仲間として、地域発展に尽くしたいと考えております。一人でも多くの方に名古屋生まれの素晴らしい陶磁器を見て頂き先人の偉業を再度、認めて頂ければ幸いです。

横山美術館館長 鈴木俊昭

公共財団法人 横山美術館

■住所：名古屋市東区葵一丁目1番21号
■開館時間：午前10時～午後5時
(最終入館時間：午後4時30分)

■休館日：毎週月曜日
(祝・休日の場合は翌日休館)

■年末年始 展示入替期間
【企画展開催時】

一般 1,000円、
高・大学生 65歳以上 500円、
中学生 400円、小学生以下 無料
■アクセス：名古屋市営地下鉄東山線
【常設展のみ開催時】
新栄町駅（1番出口）徒歩4分
名古屋市営地下鉄通線「高岳」駅
(3番出口) 徒歩4分

<https://www.yokoyama-art-museum.or.jp/>



9／6～9／17
山・きらめきのPhoto展



6／10～6／30
大鹿歌舞伎と村の切り絵展



7／16

陶磁器フォーラム2017
歴史が語る名古屋と瀬戸
陶磁器がむすぶ縁



7／16

平成29年度 催し物暦 (4月～9月)

4／20～5／7

なごや折り紙建築
NAGOYA・2017

木工家ワーキーク
NAGOYA・2017

6／2～6／4

ご覧ください。
詳しくは下記の電話番号、
ファックス番号へ
お問い合わせください。
ホームページをご覧ください。